

# 大学院案内

Graduate Degrees

## 脳研究所で研究を希望する学生の皆さまへ

当研究所の各分野及び各センターは新潟大学大学院医歯学総合研究科に所属し大学院生の教育及び研究指導を行っています。

### 大学院でできること

当研究所は、脳の仕組み、脳の病態を明らかにし、脳疾患を克服することを目指しています。次世代の脳研究を担う、修士、博士課程の大学院生を広く募集しています。

脳は、記憶し考え、感じて行動する複雑な機能を備えています。また、アルツハイマー病・ALS・パーキンソン病・脳卒中・腫瘍・精神疾患など、本質的な治療法がない脳の病気が無数に存在しています。複雑怪奇な脳の機能を探求し、その疾患を克服するには、学際的な視野を持った研究が求められています。

そのため、当研究所では、医学部・理学部・工学部・薬学部・農学部・獣医学部・人文学部など多様な学部から研究者や学生が集まり、研究を進めています。多様な視点から脳に挑むチャンスがあるのです。こういったバックグラウンドであるかは問われません、さまざまな学部からの参加を待っています！

脳研究所では、基礎から臨床まで、脳やその病気に関する幅広い知識を学び、研究に触れる機会があります。ヒトからモデル動物(サル、げっ歯類、魚、ハエなど)・細胞・分子・モデリング・イメージング・インフォマティクス・AI・技術開発まで、脳を理解し病気を克服するため、様々なテーマを持った研究室があり、それらの研究に中心となって参加することができます。初学者であっても、重要な研究テーマに専念する環境を、各研究室が整えています。

各研究室の研究内容をのぞいてみてください。様子をもう少し知りたい場合は、気軽に研究室にお問い合わせください。



研究室の中では、脳の神秘に触れ、脳の謎を解き、脳の病気を克服する研究が、日夜展開されています。最先端の知識と技術をもって、まだ他の誰も知らない真理を探求し、世界を驚かすような研究をすることができるのです。これらの成果は、新たな脳の仕組みや病気の治療法の発見へとつながっていきます。科学的発見や医療への応用で、地域社会へも、世界へも貢献することができるのです。

当研究所では、こうしたテーマに思い切りじっくりと取り組む環境が整えられています。研究室のみならず研究所全体で、あなたをサポートします。一流の研究教員の丁寧な指導のもと、興味を持った研究内容をすすめ、その成果の実現に邁進することができます。

また当研究所では、当大学の大学院医歯学総合研究科と連携し、ティーチングアシスタント(TA)・リサーチアシスタント(RA)、研究発表・論文投稿支援、授業料免除等の制度で経済的にサポートし、研究に専念できる環境を整えています。また、定期的開催する研究会を通し、多くの知的刺激を受けて自らを成長させる環境があります。国内外の著名な研究者との交流も頻繁にあり、人の輪を大きく広げることができます。国際学会への参加や海外研究所との交流を支援し、国際的な視野を広げ、その後の留学のチャンスもサポートしています。卒業後には、国内外で活躍できる研究者として、あるいは企業や公的機関、医療機関への就職など、多様なキャリアパスを支援しています。

脳に迫る研究にぜひ飛び込んでみてください。ともに脳研究を展開することを楽しみにしています。



### 齋藤 祥二

所属研究室：脳神経外科学分野  
博士課程  
出身大学：新潟大学

#### 現在の研究テーマは？

「脳血管障害の病態解明と新規治療方法の確立」をテーマに研究を行っています。主にトランスジェニックマウスやウイルスベクターを用いて遺伝子操作することで、疾患モデルマウスを作り、その解析を行っています。脳の病態に関する最新の知見や、基礎実験に関わる知識、技術を丁寧に指導いただきながら、仮説を立て、実験を計画し、結果を検証するという一連のプロセスを重ねることで、研究を進めています。

#### 脳研究所を選んだ理由は？

新潟大学は母校ですので、大学院生として脳研究所への進学は特に抵抗がありませんでした。ただ、そもそも新潟大学への進学を決めたのは脳研究所の存在がとても大きかったです。「脳に関わる仕事がしたい」と思いこの地へ来ましたので、今、脳研究所でさまざまな分野のエキスパートの先生方のご意見をもらいながら研究生生活を送れていることは、非常に幸せなことと感じています。

#### 大学院進学を考えている方へのメッセージ

この研究所は「脳」をテーマとして、基礎から臨床まで多岐にわたる専門分野が揃っています。「こんなことをしてみたい」と想像したことを、具体的な研究のかたちにできる環境があります。医学部をはじめ学内の他分野との連携も敷居が低いので、いろいろな角度からの意見をもらい研究を進めることができます。「脳のことが知りたい」、「脳疾患の研究で患者さんの役に立ちたい」という方は、ぜひ脳研究所でともに研究しましょう。

## 脳研で研究する先輩たち

#### 脳研究所を選んだ理由は？

私にとって、脳神経内科と脳神経外科は以前から最も興味深い分野です。医学部の学生だった頃、これらの分野に可能な限り携わろうと思っていました。母校の卒業が近づくとつれ、私は基礎研究を続けるとともに、臨床と実践的な側面にも取り組みたいと考えました。幸いなことに、私が医学士号を取得したカザン医科大学は脳研究所と研究交流をしていることから、奨学金を申請し新潟大学で教育を継続する機会を得ました。脳研究所は、脳神経内科・脳神経外科領域の研究を行うための優れたプラットフォームを持っており、最先端の基礎研究や臨床研究を行うことができるだけでなく、その分野の第一人者から指導を受けることができる唯一無二の機会を提供してくれます。さらに、日本は研究水準の質が高いことで知られていますので、研究の進め方やその研究分野に影響を与えるような成果を出す方法を脳研究所で学ぶことができると思います。私は以前から日本とその文化に魅了されていましたが、脳研究所で学ぶことで日本をより身近に感じ、新しい言語を学び、視野を広げることができています。

#### 大学院進学を考えている方へのメッセージ

脳研究所への大学院進学を考えているのであれば、迷わずお願することをお勧めしたいと思います。脳研究所は豊かな歴史を持ち、基礎から臨床まで(または両方を併せて)幅広い研究テーマを扱っている優れた研究機関で、他に類を見ない経験をすることができます。ここの研究環境はとても刺激的で生産的です。脳研究所から目を移し新潟県という場所を見てもここは素晴らしいところです。ここの自然は魅力的で、観光で訪れるのに良い場所もたくさんあります。スノーボードやスキーが好きな人には特にお勧めです。新潟県には50ヶ所以上のスキー場がありますので、見事な山や美しい風景の中でスノーボードやスキーをするのが好きな方にとっては訪れるべき場所です。



### Ramil Gabdulkaev

所属研究室：病理学分野  
博士課程  
出身大学：ロシア・カザン  
医科大学

大学院生募集の詳細は下記URLをご確認ください。  
<https://www.bri.niigata-u.ac.jp/grad/index.html>

